

### 2-3-3 最新災害情報データベース

災害が発生すると、マスメディア、中央・地方政府、国際機関、NGO などさまざまな機関が被災地の被害状況や救援に関する情報を発信する。しかし、こうした情報はそれぞれ個々に発信されているために、必要な情報を集約するためには時間がかかってしまう。アジア防災センターでは、これらの情報を一覧して入手できるように、ウェブ上で発信されている情報の要約を作成するとともに、オリジナルの情報へのリンクを張った最新災害情報データを公開している。具体的な提供情報としては、災害概要（発生日、発生地域、概略）、被害概要、関連リンク情報（関連レポート・記事、地図情報、緊急援助関連情報、協力者からの情報、画像データ）に加え、2002年度からはインターネット GIS 防災情報プラットフォーム「VENTEN」を利用した災害発生地の地図情報の提供を行っている。2004年3月末現在、700件の災害情報を提供している。



図 2-3-3-1 最新災害情報ウェブページ

### 2-3-4 多国語防災関連用語集

アジア防災センターでは、1990年に始まった国連の「国際防災の十年 (IDNDR)」の活動を通じて編纂された多言語による防災用語集（日本語、英語、スペイン語、フランス語、中国語）をより広く多くの人々に利用できるようにする目的で、ホームページ上で中国語をのぞく4ヶ国語防災用語集としてデータの提供を行ってきた。

2002年度からは、中国語の用語をデータベース化するとともに、韓国行政自治省国立防災研究所の上級アナリストである Dugkeun Park 氏の協力を得て、韓国語の用語集を編纂、データベース化を

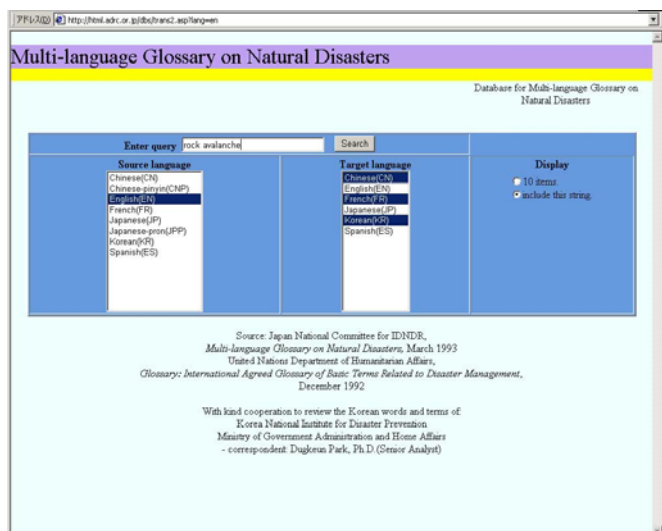


図 2-3-4-1 多国語防災関連用語集

実施し、6カ国防災関連用語集としてウェブ上で公開している。

この用語集には、通常の辞書では見つかりにくい防災関連の専門用語などを中心に約 3,200語が収録され、防災に関する数値データや技術資料、研究成果などの共有を深めることに寄与している。

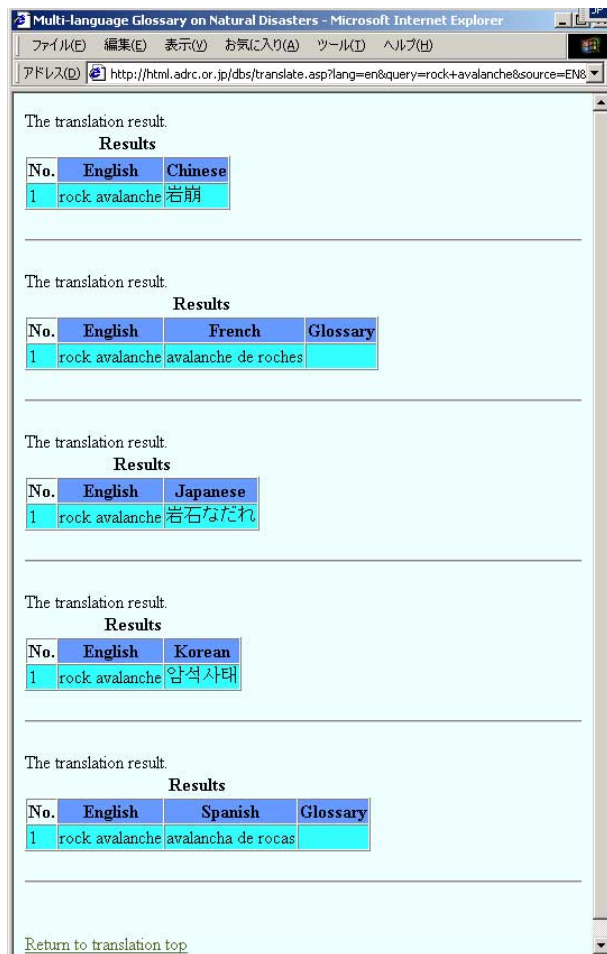


図 2-3-4-2 対応する 5ヶ国語の翻訳語表示